

平成27年9月関東・東北豪雨を教訓に
久慈川・那珂川の大規模水害に対し、

『逃げ遅れゼロ』を目指します

平成27年9月関東・東北豪雨の影響により鬼怒川では

堤防決壊などにより…

- 広範囲かつ長期間の浸水
- 氾濫流による家屋の倒壊流失
- 多数の孤立者

が発生



屋根からヘリコプターで救助される人
毎日新聞社



常総市役所から駐車場を撮影(撮影日:9/11)
周辺は浸水し、防災拠点の市役所も孤立化。

これを受け、久慈川・那珂川流域では

地域住民の安全安心を担う沿川の14市町村と茨城県、栃木県、気象庁、国土交通省関東地方整備局が

久慈川・那珂川流域における減災対策協議会を設立

(平成28年6月3日)

水戸市、日立市、常陸太田市、ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、茨城町、
大洗町、城里町、東海村
大田原市、那須烏山市、茂木町、那珂川町
茨城県、栃木県、水戸地方气象台、宇都宮地方气象台、
国土交通省関東地方整備局常陸河川国道事務所

取組内容

- 大規模水害時の逃げ遅れゼロを目標として、ハード・ソフト対策を一体的、計画的に推進します。



減災対策協議会の様子

概ね平成32年度までに達成すべき目標

久慈川・那珂川の大規模水害に対し、「逃げ遅れゼロ」を目指す

※大規模水害……想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水氾濫による被害

※逃げ遅れ……立ち退き避難が必要なエリアからの避難が遅れ孤立した状態



久慈川・那珂川流域における減災対策協議会

【問い合わせ先】 国土交通省 関東地方整備局 常陸河川国道事務所